

令和3年(2021年)10月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2021年10月 数量 (トン)	2021年10月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	青森県産、千葉県産、北海道産中心の入荷でした。入荷量は前年並みで推移しました。平均単価はやや安く推移しました。	644	93	101%	90%
2		キャベツ	群馬(嬭恋)県産、東北産、茨城県産中心の入荷でした。秋冬産地が出遅れ気味の出荷となり、入荷量はやや減少しました。平均単価は安く推移しました。	963	76	93%	81%
3		きゅうり	群馬県産、埼玉県産、福島県産中心の入荷でした。平均気温が高く、順調な生育となり、入荷量はやや増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	351	272	103%	62%
4		ね ぎ	北海道産、東北産中心の入荷でした。各産地ともに順調な生育となり、入荷量は増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	260	258	114%	64%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。作柄不良のため、入荷量はかなり減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	549	123	68%	165%
6	果 実	みかん類	中旬まで極早生が前進出荷となり、入荷量はやや増加しました。平均単価は安く推移しました。	519	200	106%	86%
7		りんご類	中心の中生種がやや小玉傾向での出荷となり、入荷量はやや減少しました。平均単価は高く推移しました。	293	342	95%	115%
8		柿類	中旬までは和歌山県産、奈良県産中心に順調な入荷でしたが、下旬以降は春先の凍霜害を受けた品種に切り替わった影響により、入荷量はやや減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	257	304	93%	104%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上